

いわた

文化財だより 第256号

磐田市スポーツ文化観光部文化財課 令和8年7月1日発行

目次

- 文化財課企画展 P1~2
- ふるさと歴史たんけん隊 参加者募集 P3
- まちなか古墳さんぽ P4
- コラム「御厨周辺の文化財」江塚直弘 P4

令和8年度 文化財課企画展

イワタの 巨大古墳

かぶと づか どう やま
～ 兜塚から堂山へ ～

2026
7.25 土
>>> 8.30 日

時 間：9：00～17：00 入場無料

休館日：月曜日、8月28日(金)

会 場：磐田市立中央図書館
展示室（磐田市見付 3599-5）

文化財課
キャラクター
ともちゃん

県指定文化財
堂山古墳出土
柄（とも）形埴輪

三神三獣鏡
鉄刀
勾玉

短甲形埴輪
蓋（きぬがさ）形埴輪

ひっぺい
© 磐田市

地図はこちらから

皆さんは、堂山古墳の存在を知っていますか。堂山古墳は古墳時代中期（およそ 1,600 年前）の全長約 110mの静岡県最大級の前方後円墳です。この堂山古墳は昭和 30 年代の東部小学校建設の際の造成土などとして墳丘が削られ、現在は周溝と墳丘の一部が残るのみです。当時行った発掘調査によって、県内では他に見られない量の大型形象埴輪や鉄製品などが見つかり、これらの出土品は県指定文化財になっています。

今年で堂山古墳発掘から 70 年を迎えます。今年の企画展では、堂山古墳出土の埴輪や鉄製品などを展示し、被葬者やその周辺の人々が活躍した姿を紐解きます。あわせて、兜塚古墳や二子塚古墳など、その前後の時期の古墳の出土品から、堂山古墳出現の背景や、堂山古墳被葬者による支配以降のイワタや周辺地域の様相などについてもさぐります。

次ページで展示のみどころを紹介します。

みどころ① 兜塚古墳の大型銅鏡

古墳時代、銅鏡は権力のシンボルのひとつでした。

近年の調査により東海地方最大級の円墳であることが判明した古墳時代中期前葉の兜塚古墳（見付・一言）からは、国産の大型銅鏡が出土しています。この銅鏡は、裏面に中国の伝説上の神と霊獣^{れいじゅう}が3体ずつ表現されていることから、三神三獣鏡と呼ばれています。現在の近畿地方を中心とするヤマト王権より手に入れたものと考えられ、当時のイワタの豪族とヤマト王権とのつながりを示しています。



三神三獣鏡

みどころ② 大型埴輪を展示

古墳と言えば埴輪をイメージする方も多いのではないのでしょうか。

堂山古墳（東貝塚）の発掘調査では、円筒埴輪や、甲冑やきぬがさ※1、軈^{とも}※2や鶏などを模した形象埴輪など、県内で最も多種・多量の埴輪が出土しました。

畿内の埴輪製作技術が用いられた埴輪も出土しており、ここでもヤマト王権とのつながりが見て取れます。

※1 貴人にさしかける傘 ※2 弓を射るときに手首に装着する防具



堂山古墳出土形象埴輪

みどころ③ 二子塚古墳の馬具

古墳時代中期には朝鮮半島から馬の飼育の風習が伝わり、市内の古墳でも中期後半から馬具が副葬され始めます。中期末に築かれた二子塚古墳（三ヶ野台）からは、副葬された馬具が出土し、市指定文化財となっています。馬を飾るための青銅製の馬具は、被葬者の権力の大きさを示します。

また同じく二子塚古墳から出土した馬形埴輪の尻部には、同じ鈴杏葉^{すずきょうよう}がデザインされており、大変珍しい事例です。

鈴杏葉



埴輪に表現された鈴杏葉

記念講演会

「古墳時代中期の規制と磐田 ー関東地域との比較を通してー」

日本の埴輪研究の第一人者から見た磐田の古墳の特徴などをお話していただきます。



8月1日（土）14:00～15:30

ところ 磐田市立中央図書館 視聴覚ホール

講師 日高 慎氏（東京学芸大学教授）

定員 110人 ※先着

参加費 無料

申込み 7月16日（木）～7月31日（金）

2/4 いわた文化財だより 第256号



←お申込みはこちら

参加者募集！

松林山古墳(模型)

令和8年度ふるさと歴史たんけん隊 『イワタの古墳を知ろう！』



ひっぺり
©磐田市

市内から見つかった貴重な古墳の出土品を紹介。夏休みの自由研究にもきっと役立つはず。ぜひ、この機会に親子で古墳の魅力を見つけに来ませんか。

令和8年8月9日(日)10:00~11:30

- ところ 磐田市埋蔵文化財センター（磐田市見付 3678-1）
- 対象 市内小学校5・6年生とその保護者
- 定員 親子10組（子どものみの参加も可）、応募者多数の場合は抽選
- 参加費 無料
- 持ち物 筆記用具
- 申込み 7月16日（木）～7月31日（金）電子申請にて受付
（右、二次元コードから申込みいただけます）
- 問合せ 文化財課 TEL:0538-32-9699



電子申請

イベント内容

ここでしか聞けない話もあるかも！？企画展の展示解説など

文化財課企画展「イワタの巨大古墳～兜塚から堂山へ～」や、埋蔵文化財センターの古墳にまつわる展示品について、文化財課職員が解説します。センターでは、県内でも質・量ともに豊富な副葬品が見つかったこしきづか甕塚古墳や、向陽学府小中一体校建設に伴い発掘調査を行った中原B古墳群などの出土品を紹介します。



甕塚古墳の出土品

古墳からの出土品が間近で見られるチャンス！？

展示以外にも市内の古墳から見つかった出土品を多数紹介します。普段、ガラスケース越しでしか見られない貴重な出土品を間近でご覧いただけます。

まちなか古墳さんぽ

文化財課企画展「イワタの巨大古墳～兜塚から堂山へ～」の開催に先立ち、7月1日から、磐田市本庁舎1階展示ブースで、市役所周辺の古墳を紹介する展示をおこないます。

展示期間 7月1日（水）～7月31日（金）

展示場所 磐田市役所 本庁舎 1階（磐田市国府台3-1）

開庁時間 月曜から金曜（祝日を除く）午前8時30分から午後5時15分

みどころ 磐田市内にある900基を超える古墳のうち、市役所から半径2kmの範囲にある古墳を紹介します。あわせて、国特別史跡遠江国分寺跡や、県指定文化財府八幡宮楼門など、古墳以外の文化財も紹介します。ぜひご覧ください。

職員リレー
コラム

みくりや
御厨周辺の文化財

江塚 直弘

皆さんは、「埴輪」と聞くと何をイメージしますか。私は「^{ともかた}靱形埴輪」です。

私が生まれ育った御厨地区は、今号の文化財だよりでも紹介されている堂山古墳に加えて、松林山古墳をはじめとする「御厨古墳群」が点在し、埴輪や副葬品も多数出土しています。

御厨地区の東貝塚で出土した堂山古墳の「靱形埴輪」は、現在、埋蔵文化財センターの最も目立つ場所に展示されています。

御厨地区の北、田原地区からは国指定重要文化財「^{みょうがじま}明ヶ島古墳群出土土製品」が出土しました。こちらも当センターでご覧いただけます。文化財の保全・活用は、現代を生きる私たちが、次世代へ継承すべき責務だと感じています。

現在、JR御厨駅の南口には、靱形埴輪のモニュメントが設置されています。

御厨駅は令和2年に開業し、北口はサッカー観戦や通勤・通学等で多くの利用があります。対して南口周辺は、古墳群をはじめ文化財や神社仏閣が多く、北口とは違う雰囲気を感じられます。

新幹線を間近に見られるスポットでもありますので、お近くにいらした際にはぜひお寄りください。



【御厨駅南口】

編集後記
文化財イベント目白押しの夏がやってきます！大人気スタンプラリーも企画中です。文化財情報をぜひチェックしてくださいね。

発行：磐田市スポーツ文化観光部
文化財課（磐田市埋蔵文化財センター）
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。磐田 文化財だより 検索